

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2024年4月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで61年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2025年5月下旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

Facebook



X (旧Twitter)



Instagram



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2024年4月度ギャラクシー賞月間賞

東京ゲソ天ブルース 素晴らしき立ち食いそばの世界

4月1日放送 24:55~25:55 フジテレビジョン

立ち食いそばの中でも独自のファンに支持を受けている「ゲソ天」をクローズアップ。ゲソ天を通して町の食文化が合理経済ではなく、店と客のつながりによって脈々と継承されていく姿が見えた。奇をてらわずドキュメンタリーとして正攻法の演出に好感。深夜枠ながらゲソ天で60分番組という思い切った企画編成にも感心。

NHKスペシャル「Last Days 坂本龍一 最期の日々」

4月7日放送 21:00~21:59 日本放送協会

タイトルどおり坂本龍一の最期の日々と、そこから人間坂本の姿を描いた。単なる音楽家ではない、彼の思索の深さ、社会を見つめる眼を伝えると同時に、死が迫るなかでの人の生きざまを見せつけられた。再現された病室シーンも使いながら、最後の最後まで続く音楽との格闘や闘病の末亡くなった高橋幸宏や家族との時間など、切なさを募らせる。

BSスペシャル「裁判所が少年事件記録を捨てた それは何を奪ったのか」

4月18日放送 23:25~24:15 日本放送協会

1997年の神戸児童連続殺傷事件、2004年の長崎・佐世保小6女児殺害事件、2012年の京都・亀岡暴走事故……。世間を震撼させた少年事件の記録が廃棄されていた。最高裁が異例の謝罪を行う事態に至ったこの問題について、国内外の取材で深く掘り下げ、日本のシュレッダー文化に一石を投じた。

プレミアムドラマ「舟を編む～私、辞書つくります～」

2月18日～4月21日放送 22:00~22:49 日本放送協会 日テレアックスオン

登場人物のキャラクター設定が念入りで感心させられる。なにより印刷用紙にこだわる編集者、原稿の改訂を一切受け入れない著者、発行日を決して譲らない宣伝・販売担当、紙媒体の未来を疑う経営者など「出版社あるある」を本気で散りばめた本作に、溜飲を下げた出版人も多いのでは。

★詳細は月刊誌「GALAC」2024年7月号に掲載します